



RAKUWA
lecture of health

第81回 らくわ健康教室

2012年1月12日



総合医ってなに？

～ 医療を織り成すヨコの糸 ～

洛和会音羽病院 総合診療科 医員 にしむら まさひろ 西村 正大



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院



RAKUWA
lecture of health

総合医ってなに? ~ 医療を織り成すヨコの糸 ~

「総合医」や「総合診療科」というと、知らない方もおられますので、ぜひ理解していただきたいと思います。

総合的に診るための”技術と知識”

- 診断学
 - 鑑別診断能力
 - 身体診察能力
 - コミュニケーション能力
- 最新医学を更新/検索する能力
- 生物/心理/社会を統合する能力

こんなとき、どうしますか?

? 2カ月前から、たまに胸が痛い。さて、何科を受診しますか?

☹️ 「総合診療科」がない場合…

- 「循環器科」を受診
 - ➔ 心電図や超音波などの検査の結果、「心臓は何ともありませんよ」と言われた。
- 「呼吸器科」を受診
 - ➔ 胸部CTで異常なし。「うちの科ではなさそうですね」と言われた。
- 「整形外科」を受診
 - ➔ 肋骨レントゲンでは異常なく、「肋間神経痛でしょうか?」と言われ、はっきりしなかった。

「じゃあ、一体、この痛みはどうしたらいいの?」というようなことを、ほかの症状でも経験されたことがあるのではないのでしょうか?

😊 同じケースで、総合医のいる「総合診療科」があれば…

- 細かく問診
 - ➔ 「どんなときに? どんな風に? 痛みに波は? 過去に経験は? 食事との関連は? 食事の内容は?」
 - ➔ 「今までにした病気は? お酒は? タバコは?」
- 細かく診察
 - ➔ 「目・舌・胸の聴診、お腹の触診、体位を変えて…」
 - ➔ 「心電図と血液検査と超音波検査をしましょう」



胆石を発見!

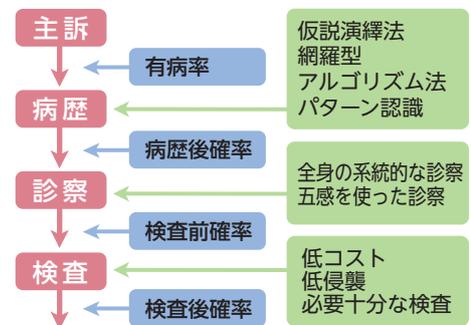
「おそらく胆石発作でしょう。外科にご紹介します」

と、専門の診療科を的確に紹介することができます。

病気によっては、救急科でも、家庭医療科でも、同様に正確な検査・治療を受けることができます。

診断学の例

【診断におけるさまざまなテクニック】





総合医とは

臓器別専門分野をあえてもたずに、「横断的」「総合的」「包括的」な医療を実践する医師のことです。つまり、「なんでも診ます!」というジェネラリストです。私たち総合医は、総合的に診るための「技術と知識」を、常に研鑽けんさんしています。

総合的に診るための“マインド”

- 社会や患者さまに対する責任性の自覚
“断らない救急”
“自分の専門でないと言わない”
“困っている地域で働く”
- “病気があるヒト”としてではなく
“病いを抱えた人間”として接する態度

医療のなかで、
「横断的」「総合的」「包括的」に
診る方が適している場面



- 生活と密に関わるとき(生活習慣病、予防)
- 確定診断がつく“前”の段階
- 老いや死と向き合うとき(介護、看取り)
- へき地など、専門家が足りないとき
- 医学教育に携わるとき

総合医のニーズの背景

- 医療の発展と過度な専門分化
- 超・高齢化社会の到来
- 国家財政の圧迫
- 医師不足の現実

専門医と総合医の違い

	専門医	総合医
得意分野	治療のプロ	診たてのプロ
医学的知識	狭く深く	広く浅く

診ているもの、得意分野、アプローチの仕方が少し違うだけで、どちらが良い、悪いということはありません。

さまざまな日本の総合医

【診療所】

総合医	特徴	主な活動場所
開業医	日本独自の総合医。専門医が転向する 경우가ほとんど。それまでの専門であった〇〇科と名乗ることが多い。	診療所 在宅
プライマリケア医	開業医の中で、特に“総合”を意識するようになったグループ。熟練のベテラン総合医が多い。	
家庭医	主に米国で発展した家庭医学を輸入したもの。若手に人気があり、現在急速に広まりつつある。	

【病院】

総合医	特徴	主な活動場所
総合診療医 病院総合医 ホスピタリスト	主に市中病院で活躍する総合医。診断学、高齢者医療などを得意とする。専門医がいない領域、専門医の枠にはまらない人などを補充する役割もある。	市中病院 大学
総合内科医	上記とほぼ同義だが、特に内科系に特化している。診断学、感染症、医学教育に長ける。	
ICU医	病院の集中治療室に特化した総合医。診療科を超えて、超重症患者のケアや蘇生に長ける。	総合病院 大学

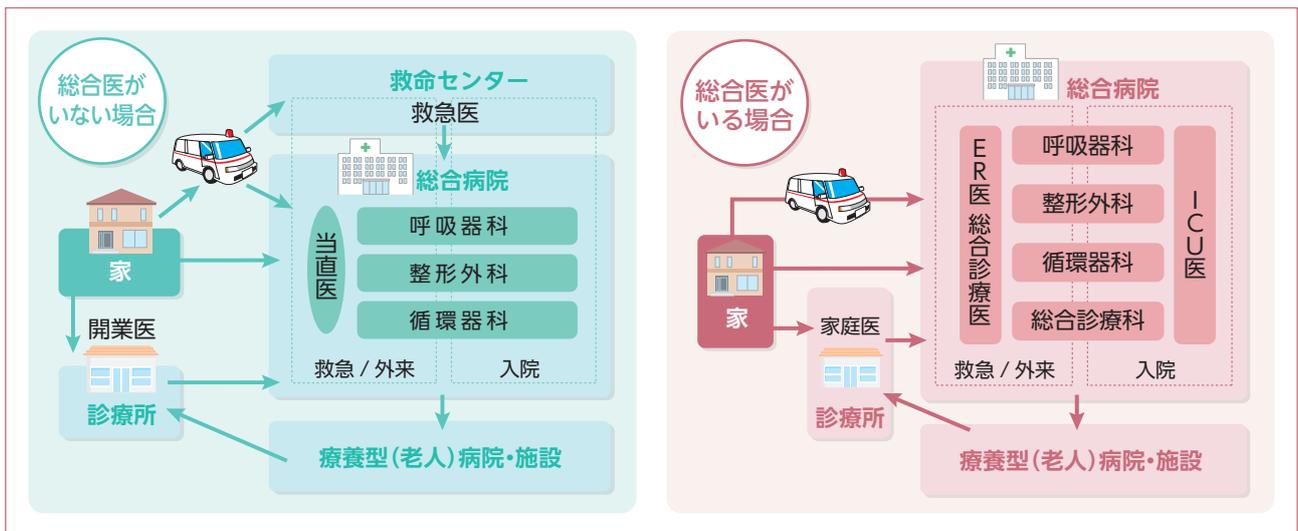
【救急】

総合医	特徴	主な活動場所
救急専門医	30年程前から日本で広まってきた救急医。多発外傷など生命に直結する超重症のみを担当する“救命センター方式”を採用している。	救命 センター
ER医	Emergency Room型。米国式の救急医である。軽症から重症の救急患者さまを何でも担当する。	市中病院

医師不足の現実

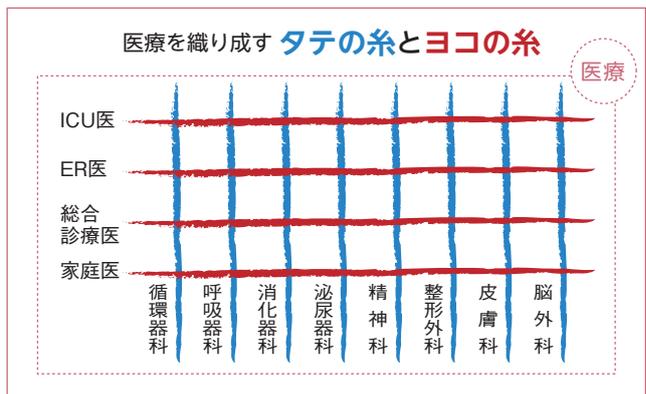
日本では超高齢社会を迎え、医師の必要性が高まっています。一方で、地方、特に過疎地などの医師不足は深刻であり、こういう所こそ、総合医が必要です。

総合医不足の背景には、急速な医療の発展による、医師の過度な専門分化があります。技術革新と、一個人の人生では、とても網羅できない膨大な情報量により、各専門分野だけで人生を終える医師が増えているのです。



あらためて、総合医とは

正式な教育と経験を積んだ新しいタイプの医師です。“総合する専門医”でもあります。皆さんは信頼できる“ホームドクター”の先生をおもちでしょうか？ おもちでない方は、一度、洛和会音羽病院「総合診療科」を受診してください。



講師プロフィール



- 専門分野 内科学、家庭医療学
- 専門医認定・資格など
 - 日本内科学会認定内科医
 - 日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修会修了
 - 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医